

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ツバサプラス シリウス館		
○保護者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	5領域に基づいた活動を体系的に提供し、子どもの健やかな成長と自立を多角的に支援できていること。	支援内容に基づき、各職員の強みを活かした独自の活動プログラムを企画・実施し、質の高い支援を実施している。	利用者や保護者のニーズを柔軟に反映し、個々の希望に沿った最適な活動プログラムを企画・実施する。
2	就労準備型放課後等デイサービスとして、実践的スキルと社会性を磨き、将来の自立に直結する専門的な療育を提供できていること。	B型就労支援施設での実務を活動に導入し、本番と同様の作業体験を通じて、実践的な就労スキルの習得を支援している。	作業実習の拡充と外部企業連携を強化し、より実践的な就労準備プログラムを充実させる。
3	生徒や保護者のニーズを活動に反映させ、個々の希望に寄り添った最適なプログラムを提供できていること。	頻繁なヒアリングで要望を支援プログラムや外出活動に反映し、通所意欲を高める魅力的なプログラムを提供する。	・今まで提案の機会が少なかった利用者様の意見も取り入れていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	中高生対象のため、放課後の提供時間には制約があるが、限られた時間内で密度の高い効率的な活動プログラムを提供している。	社会的自立のため自主通所を推奨している影響で、下校時間との都合上、活動時間を十分に確保できない日がある。	限られた時間の中でも満足感を得られる活動内容を工夫し取り入れていく。
2	個々の学習レベルやコミュニケーション能力などについて、十分に把握しきれていない部分がある。	個別学習で副教科の課題対応が多いため、主要5教科の学力把握が不十分。客観的な評価指標や定期的な聞き取りを強化する。	主要5教科の問題を整備し、個別の学習状況を細かく分析していく。一人ひとりの学力に応じた最適な学習支援と能力把握に努める。
3	保護者会の開催が難しく、横の繋がりや意見集約が不十分。電話等での個別相談を強化し、保護者の声に寄り添う支援を目指す。	秋まつりや運動会等の行事での交流はあるが、事業所主催の保護者会は未実施。公式な場を設け、保護者同士の相談や意見交換を促す体制を整える。	保護者のニーズを把握しつつ、本年度内に保護者会を開催する。意見交換の場を設け、支援の質向上と連携強化を図っていく。